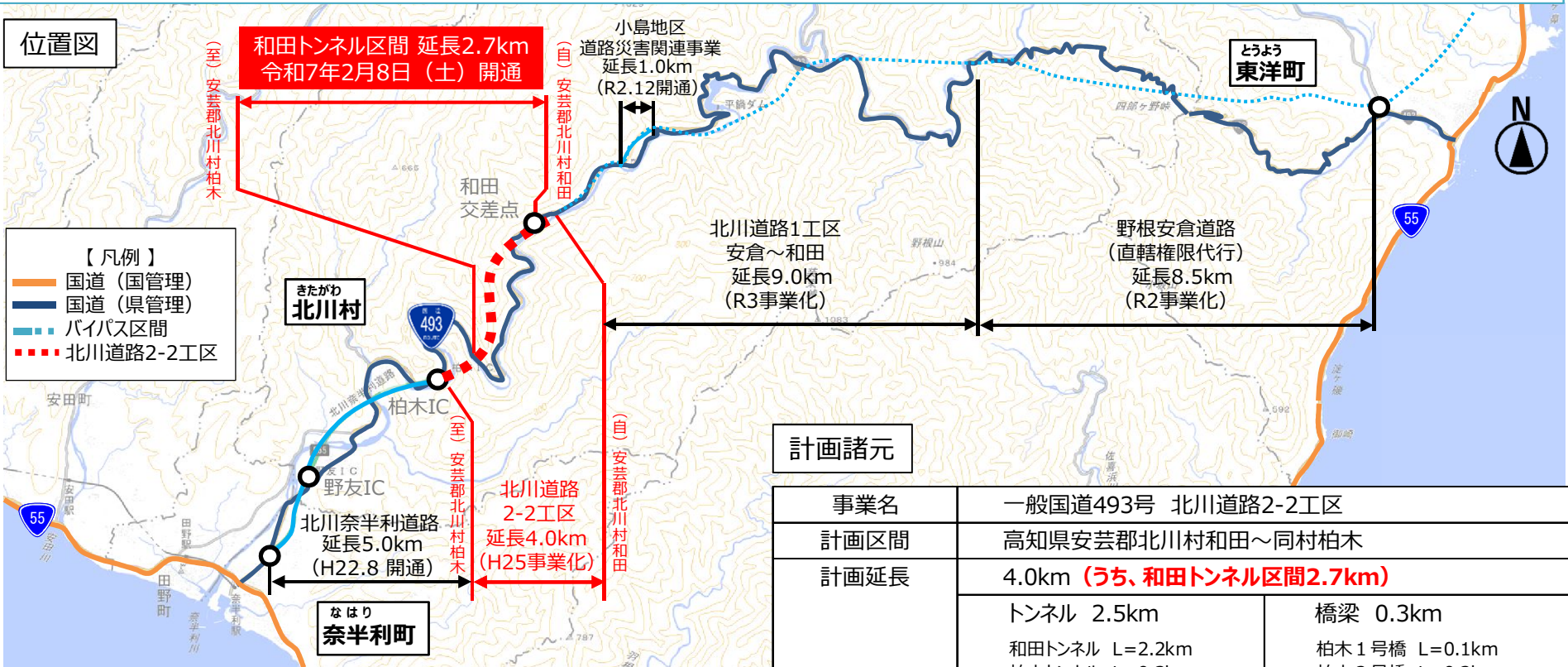
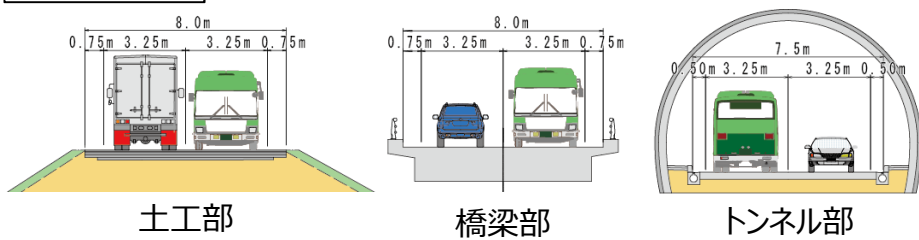


国道493号 北川道路2-2工区 事業概要

- 国道493号北川道路2-2工区は、防災面や線形不良などの課題が連続する区間を避け、安全・安心な交通機能の確保を目的とする道路です。
- このうち、**和田トンネルを含む一部区間（延長2.7km）**が、**令和7年2月8日（土）**に開通しました。
- 引き続き、災害の危険性解消などに向け、残る区間の事業を推進します。



標準断面図

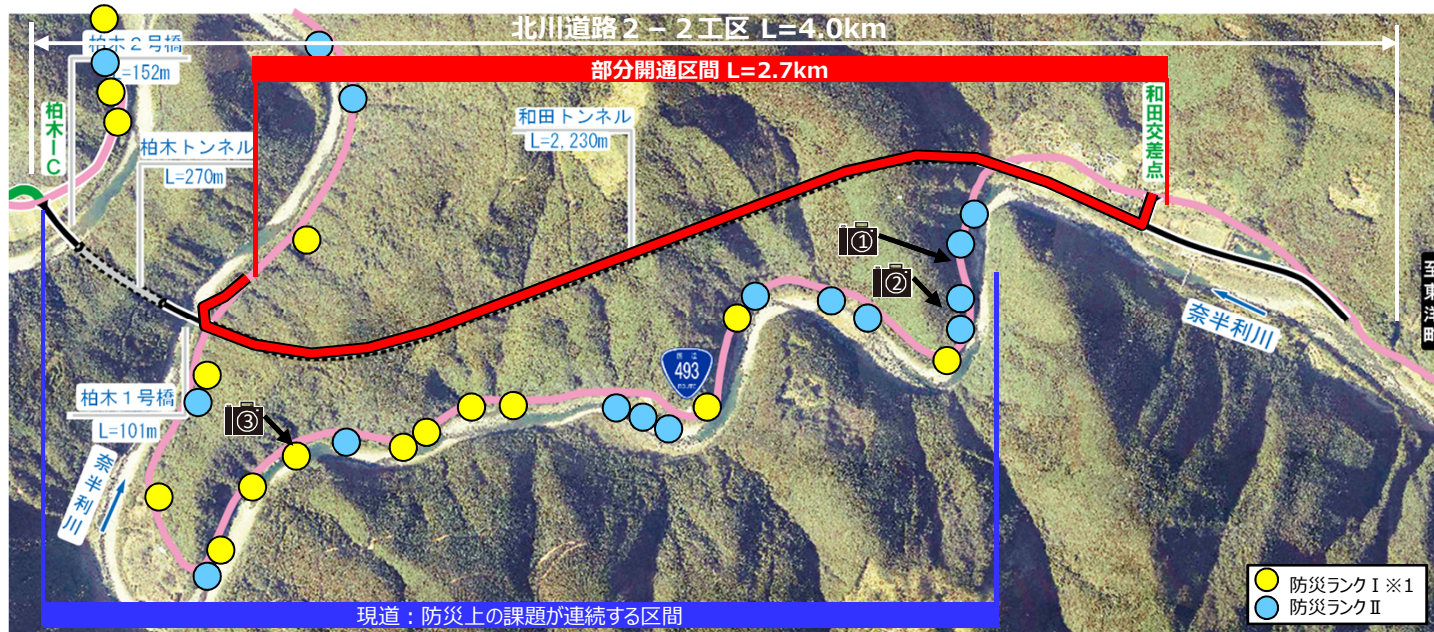


計画諸元

事業名	一般国道493号 北川道路2-2工区	
計画区間	高知県安芸郡北川村和田～同村柏木	
計画延長	4.0km (うち、和田トンネル区間2.7km)	
	トンネル 2.5km 和田トンネル L=2.2km 柏木トンネル L=0.3km	橋梁 0.3km 柏木1号橋 L=0.1km 柏木2号橋 L=0.2km
構造規格	第3種第2級	
設計速度	60km/h	
車線数	2車線	
標準幅員	8.0m (0.75～3.25～3.25～0.75)	
全体事業費	179億円	
事業期間	平成25年度～令和11年度	

【整備効果①】災害危険箇所の回避による安全・安心な交通の確保

- 国道493号は、落石などによる危険箇所が存在し、災害による通行止めリスクが高い道路です。
- 今回の開通区間は、**トンネルが主な構造**であり、**災害による通行止めを確実に回避**することができます。
- 事業区間内の**災害危険箇所を25箇所（約8割）回避**でき、安全・安心な交通の確保が期待されます。



＞災害に強い道路構造



※1 H8道路防災等点検による判定区分
防災ランクI：要対策、防災ランクII：カルテ箇所

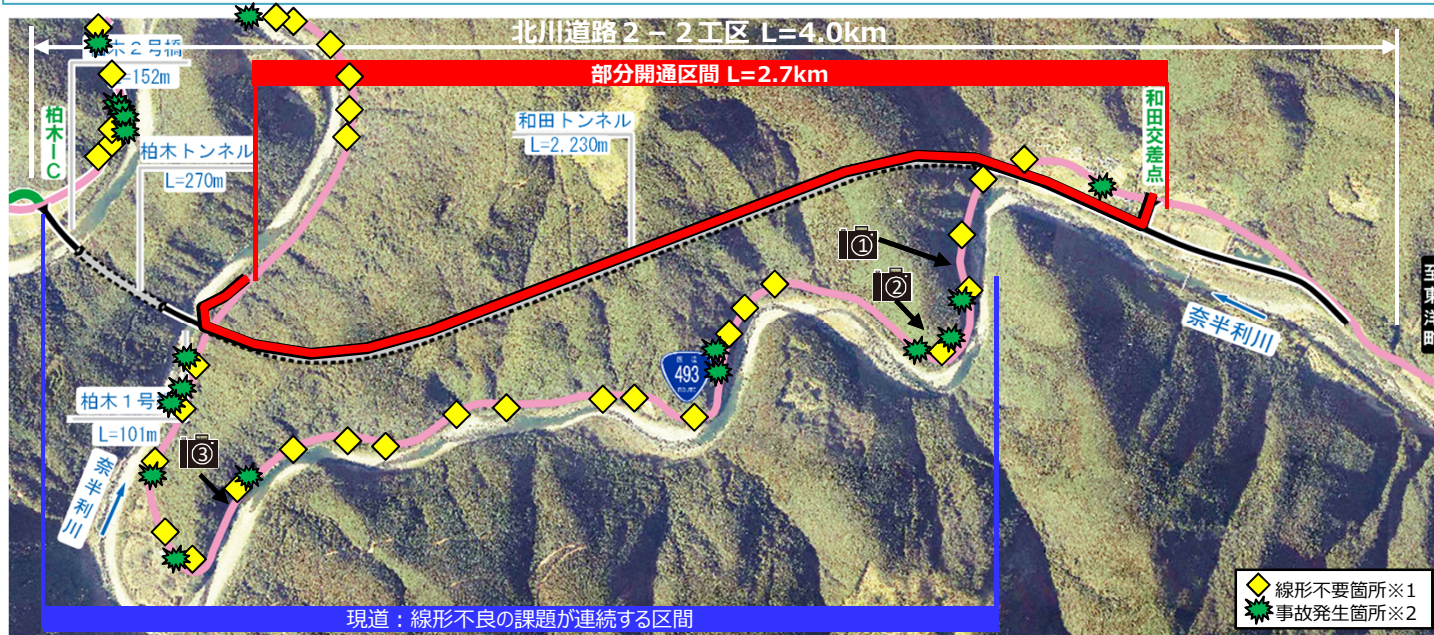
＞部分供用による災害危険箇所の回避割合

災害危険箇所数 ※2	事業区間	部分供用区間	備考
防災ランクI	16	12	75%回避
防災ランクII	17	13	76%回避
合計	33	25	

※2 H8道路防災総点検結果に基づく危険箇所数

【整備効果②】線形不良箇所の回避による安全性の向上

- 国道493号は、車両走行時の急ハンドルやすれ違いが困難な線形不良箇所が存在し、事故も多数発生しています。
- 今回の開通区間は、線形不良箇所を回避する**設計速度60km/hの直線の道路**です。
- 事業区間内の**線形不良箇所を22箇所（約7割）回避**でき、安全性の向上が期待されます。



➤線形不良箇所を回避するバイパス道路



※1 道路構造令による設計速度60km/hの曲線半径R=150を満たさない曲線
 ※2 H27~R1の人身・物損事故数調べ（安芸署提供）

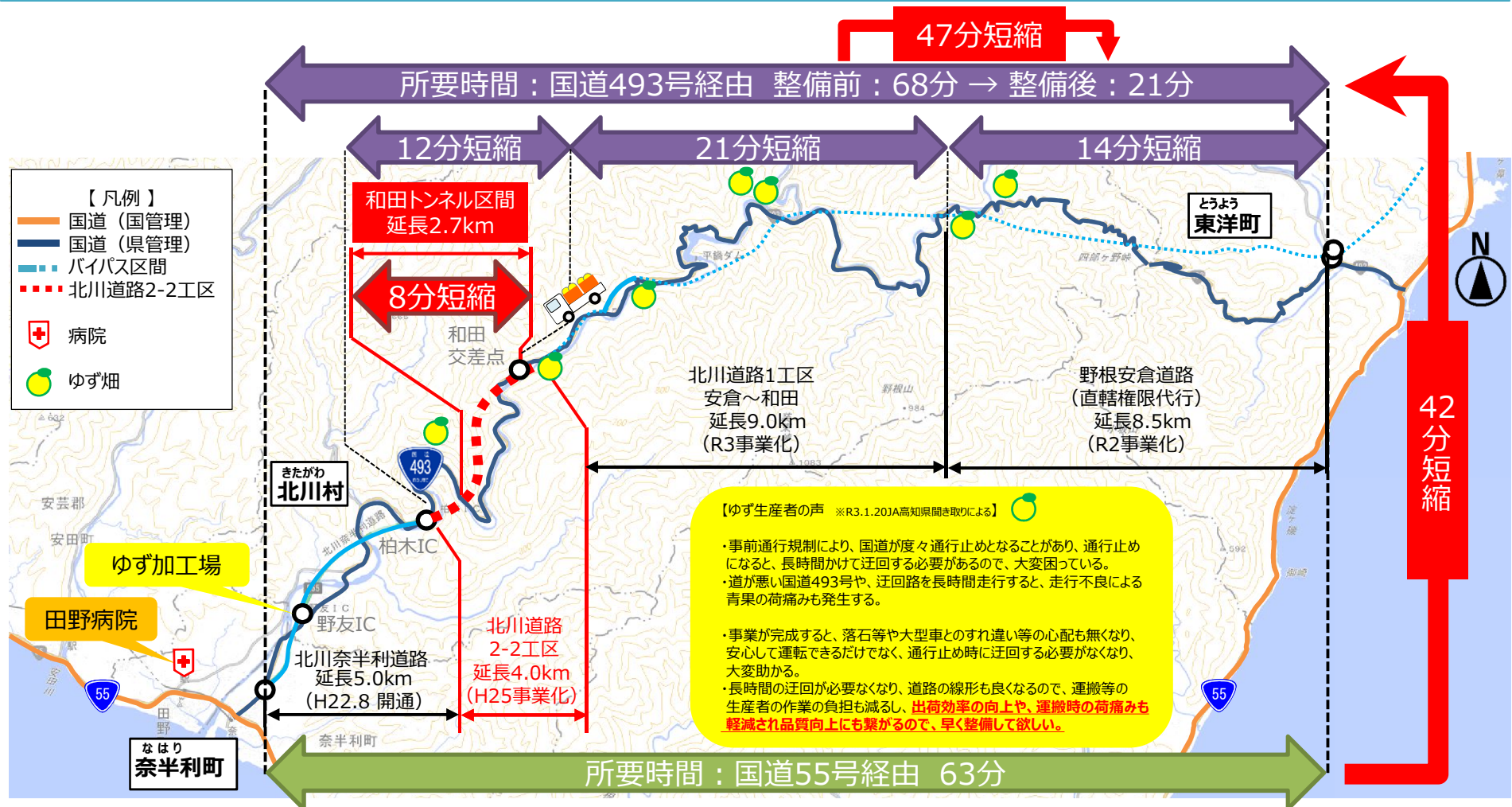
➤部分供用による線形不良箇所の回避割合

現道の箇所数	事業区間	部分供用区間	備考
事故発生件数	18	12	-
線形不良箇所	33	22	67%回避

事故内容	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	合計
人身事故	0	0	0	0	1	1
物損事故	4	1	6	2	4	17
合計	4	1	6	2	5	18

【整備効果③】時間短縮による災害・救急医療活動や基幹産業の支援

- 国道493号は第2次緊急輸送道路、重要物流道路の代替・補完路に指定されています。
- 最寄り医療機関は第二次医療施設である田野病院であり、救急時は地域住民に欠かせない道路です。
- 今回の部分開通により**現道区間を8分（11分→3分）短縮**でき、**全線開通後は47分短縮**されます。
- 緊急搬送時間短縮や北川村の基幹産業である「ゆず」の出荷輸送時間が短縮され生産性向上が期待できます。
- 津波浸水想定区間が20kmを占める国道55号の代替路としても期待され42分の時間短縮が実現できます。



※現道の所要時間はR3道路交通センサス、12時間平均旅行速度により算出
 ※整備区間の所要時間は設計速度60km/hにより算出